

福泊海岸植生調査 参加

県立姫路飾西高等学校 自然科学部

福泊海岸植生調査に参加しました。西播磨生物部会・生物学会は、1989年に造成された人工海岸が年月の経過でどのように変化していくかを、方形枠を用いた区画法で植生調査しています。この調査に参加し、海浜植物の種類や調査方法について学びました。



ハマゴウ



ハマヒルガオ



コウボウシバ



コウボウムギ



ハマボウフウ



いろいろな学校が集まり、たくさんの人数で調査しました。開会では、植生調査の意味や方法について生物部会会長の山下先生から説明を聞きました。その後、グループに分かれて調査方法の実習をしました。被度・頻度・植物高・植物名などについて記録していきます。初めは植物の種類や名前が分からず苦勞しました。



姫路飾西高校自然科学部は、香寺高校・市立飾磨高校と一緒に調査しました。被度や頻度で違った意見が出ることもありましたが、話し合っで決定できました。他校の人たちと交流し、コミュニケーションをとることもできたことは、普段の活動と違ったよい経験となりました。これまで知らなかった植物を知ることができ、大変でしたが有意義な時間になりました。